

「課題名：薬剤師のための抗 HIV 薬服薬指導研修会

-アンケートから見えた研修会の意義と課題-」について

○ 研究の意義・目的

当院では、1998 年よりこれまで 20 年間以上にわたって「薬剤師のための抗 HIV 薬服薬指導研修会」を開催し、昨年度までで計 38 回実施してきました。抗 HIV 薬の進歩は著しく、効果は高いが薬物相互作用や副作用の少ない薬剤が開発されてきた一方で、HIV 感染症患者は告知後のショックや将来への不安など、メンタルヘルスの不調を抱えることも多く、患者心理を理解した上で服薬指導に臨むことが必要であり、これまで座学と体験的学習の二部構成で研修会を行ってきました。

今回、これまで開催してきた本研修会で実施してきたアンケート結果より、研修会への期待と評価を考察することで、今後の薬剤師育成のための研修会の在り方を検討し、より充実した研修会の開催へつなげていきたいと考えています。

○ 研究対象者

2010 年度から 2019 年度の間に、「薬剤師のための抗 HIV 薬服薬指導研修会」に参加した方を対象とします。

○ 研究方法

本研究は、全て過去のレポート、アンケート結果を転記して行います。（個人が特定出来る情報は転記しません）また、この研究については、当大学の倫理委員会の審議にもとづく担当理事の許可を得ています。

○ 研究への参加により生じる利益ならびに不利益、負担及び予測されるリスク

本研究は、過去のアンケート結果の調査のため、研究対象者に生じる不利益、負担及び予測されるリスクはありません。研究対象者が受ける利益の予測として、今後開催される研修会の内容の充実につながる事が考えられます。

○ 試料・情報の管理責任者

広島大学病院薬剤部 教授 松尾裕彰

○ 研究期間

委員会承認後 ～ 2022 年 3 月 31 日（解析期間含む）

○ 個人情報の保護

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

○ **研究に関する情報公開の方法**

学会や論文等にて発表する際は、研究対象者の氏名など、研究対象者を直ちに特定できる情報を削除（匿名化）します。

また、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障が無い範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手または閲覧することができますので、お申し出ください。

○ **試料・情報の保管及び廃棄の方法**

匿名化した情報は薬剤部のコンピューターに保存し、研究終了 5 年後にはコンピューターから削除します。

○ **研究資金及び利益相反**

本研究の資金源は運営費交付金です。私たちはこの研究によって特許や、企業からの寄付など経済的利益を得ることはありません。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせください。

* 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。

.....

お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 電話：082-257-5579

広島大学病院薬剤部 教授 松尾裕彰（研究責任者）

薬剤師 石井聡一郎（担当者）